

## 産地情勢 (2019.2.8)

アルゼンチン産大豆(2月6日)

多雨により収穫面積が減少しているものの、その他の地域では、良好な作柄だが、生産量全体では、当初予想よりも減少見通しにある。

アルゼンチン産とうもろこし(2月6日)

多雨により作付が遅延している地域があるものの、その他の地域の作柄が良好で、大豆のような生産量下方修正の心配はなさそうである。

ブラジル産大豆(2月5日)

パラナ州、ゴイアス州、ミナスジェラス州等が12月から1月初めに早魃被害を受けており、単収が減少する見通しである。

ブラジル産とうもろこし(2月5日)

夏作の収穫が始まっており、単収は良好である。冬作の作付けも順調。冬作の生産量が約6割を占めるため、4～6月の受粉期の天候が注目される。

Soybean and Corn Advisor, Inc. 2009-2019 他